

総長選考・監察会議

2025年11月14日

多様性の海へ：対話が創造する未来

Into a **Sea** of Diversity: Creating the Future through Dialogue

対話から
創造へ

多様性と
包摂性

世界の誰もが
来たくなる大学

学知を生みだし、つなぎ、深め、卓越性と包摂性を実現

学術での卓越を実現するための、真理への探究心と学問の自由に根ざす研究

地球的な視野、高い倫理、粘り強い実践力、問いを立てる力を育む教育

多様な人間が集まり、課題の発見と共有と解決に取り組む場としての大学

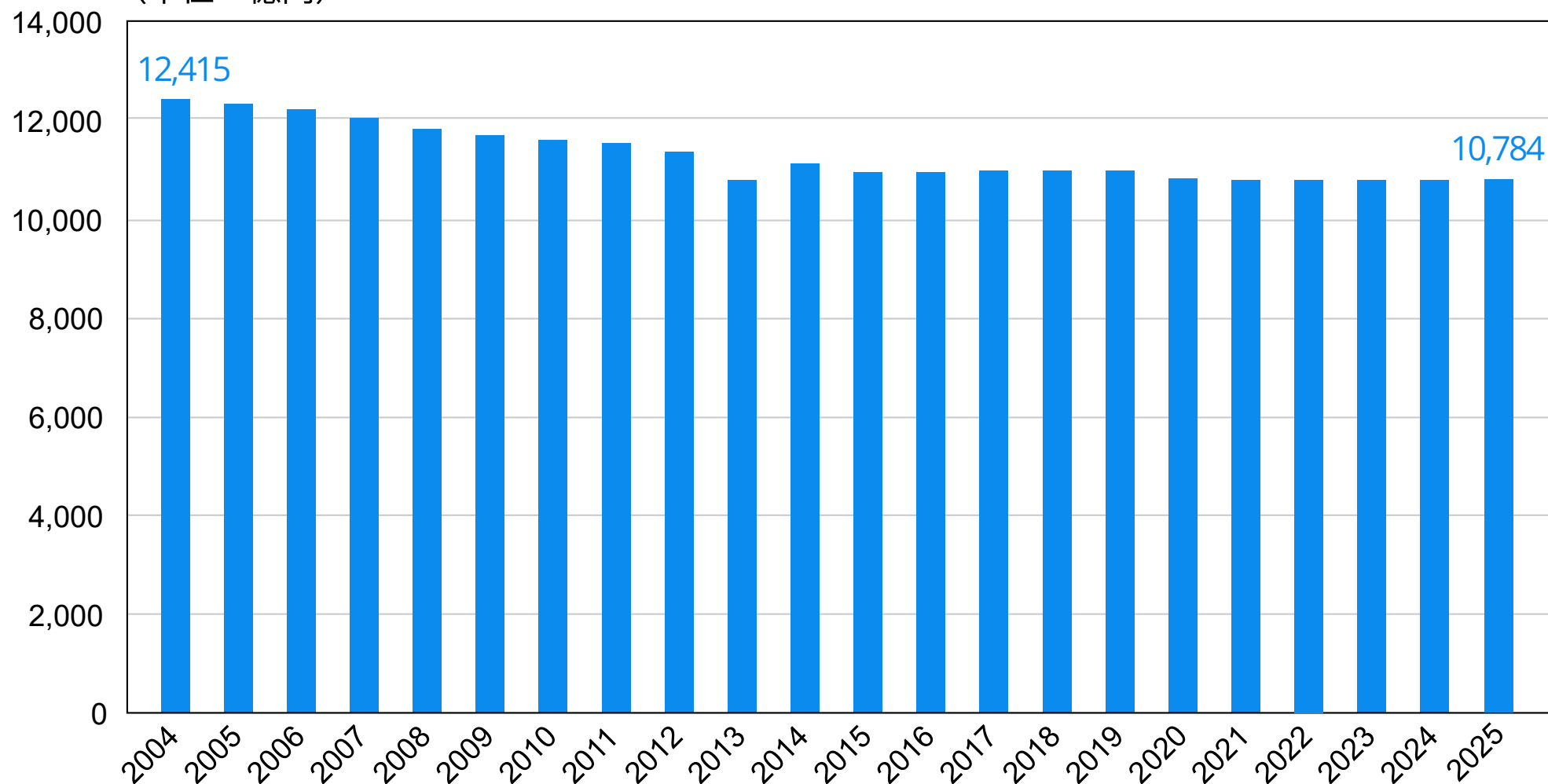
地球規模の課題の解決へ貢献し、世界の公共を担うために創造的に自らの実践をデザイン

インクルーシブで自由なより良い未来社会の創造を目指す

Management

運営費交付金 (全体) の推移

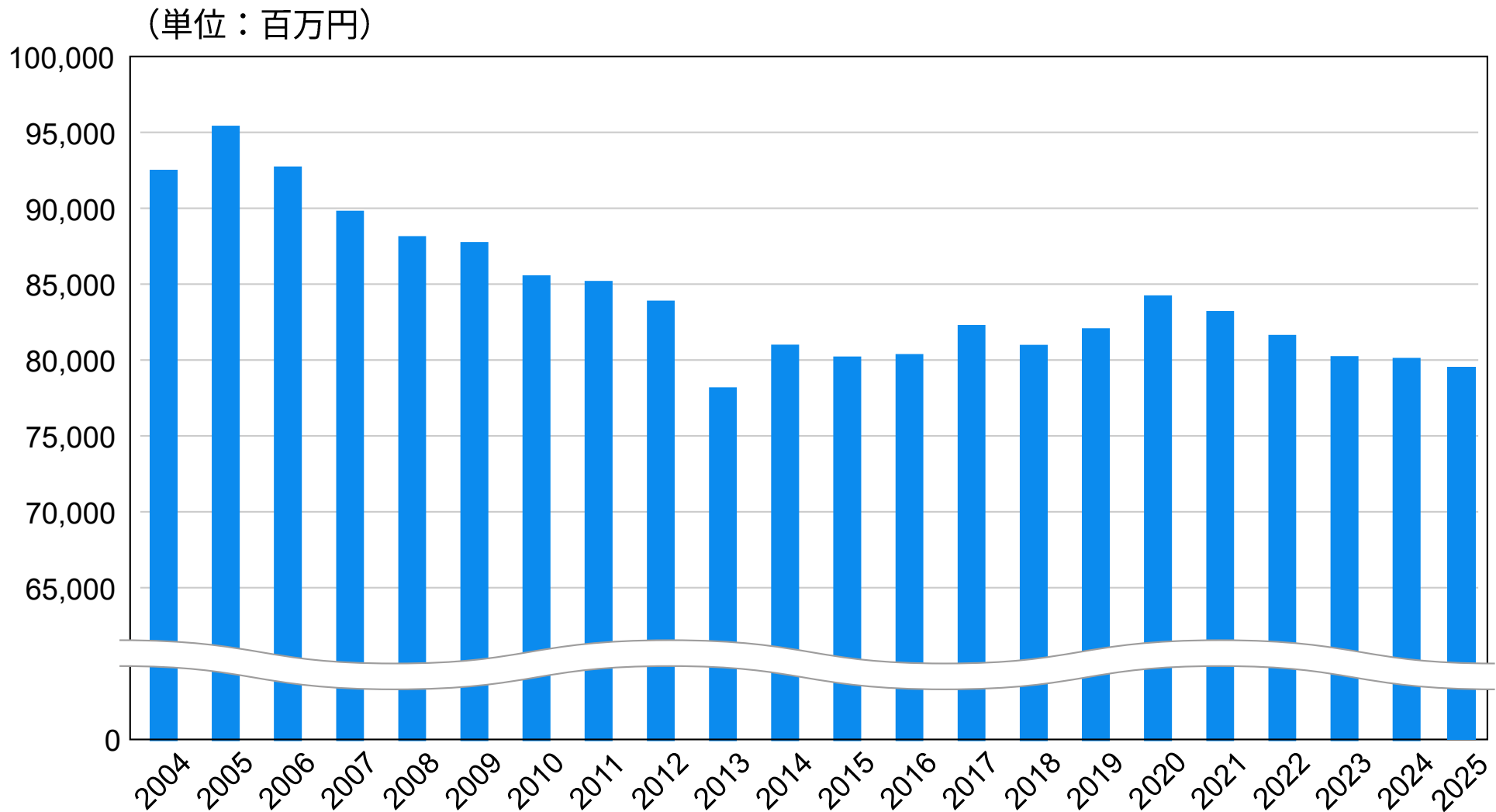
(単位：億円)



令和8年度
概算要求
約630億円増

※ 平成25年度、平成26年度予算額には、国家公務員の給与減額処置の影響による増減がある。
※ 平成29年度、平成30年度予算額には、国立大学法人機能強化促進費を含む。
※ 令和2年度予算から、高等教育修学支援新制度の授業料等免除分を内閣府に計上。

東京大学における運営費交付金の推移

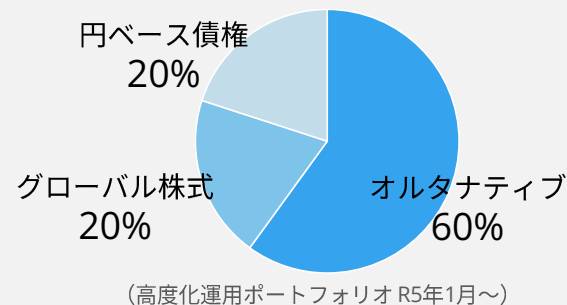


財務基盤強化に向けた様々な取組

厳しい財務状況の中で**教育研究を維持・向上**していくため、あらゆる方策を実行することで**財源の多様化を図り、財務基盤を強化**

資金運用の高度化

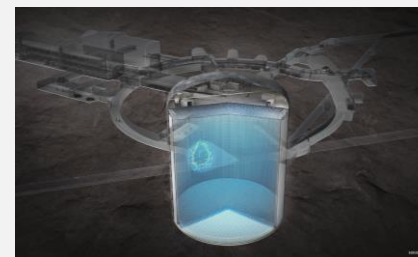
- 最高投資責任者(CIO)を設置し、資産運用を高度化
- 高度化運用ポートフォリオに基づき約540億円を運用



投資開始来の年率収益率
+4.9%
(R7年3月末時点)

東京大学債の発行

- 過去2年間でUTokyo Compass債として285億円を発行
- 卓越した学知の創出やD&Iの推進等に必要な資金を調達



ハイパーカミオカンデ計画の推進



整備予定のD&I棟および周辺イメージ

授業料改定

- R7年度の学士課程入学者から授業料を改定
- 改定による増収額を活用して教育学修環境の改善を推進

| 学種 | 改定前 | 改定後 | 改定時期 |
|-----------------|----------|----------|---------------|
| 学士課程 | 535,800円 | 642,960円 | R7年4月入学者から適用 |
| 修士課程 専門職学位課程 | 535,800円 | 642,960円 | R11年4月入学者から適用 |

※博士課程は改定しない
※授業料改定と併せて、学生支援の拡充も実施

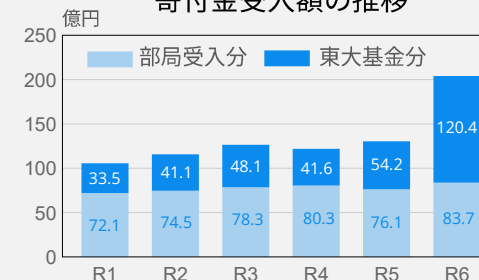
寄付獲得に向けた取組

- ディベロップメントオフィスを設置し寄付獲得に向けた取組を加速
- 近年では大口寄付も徐々に増加

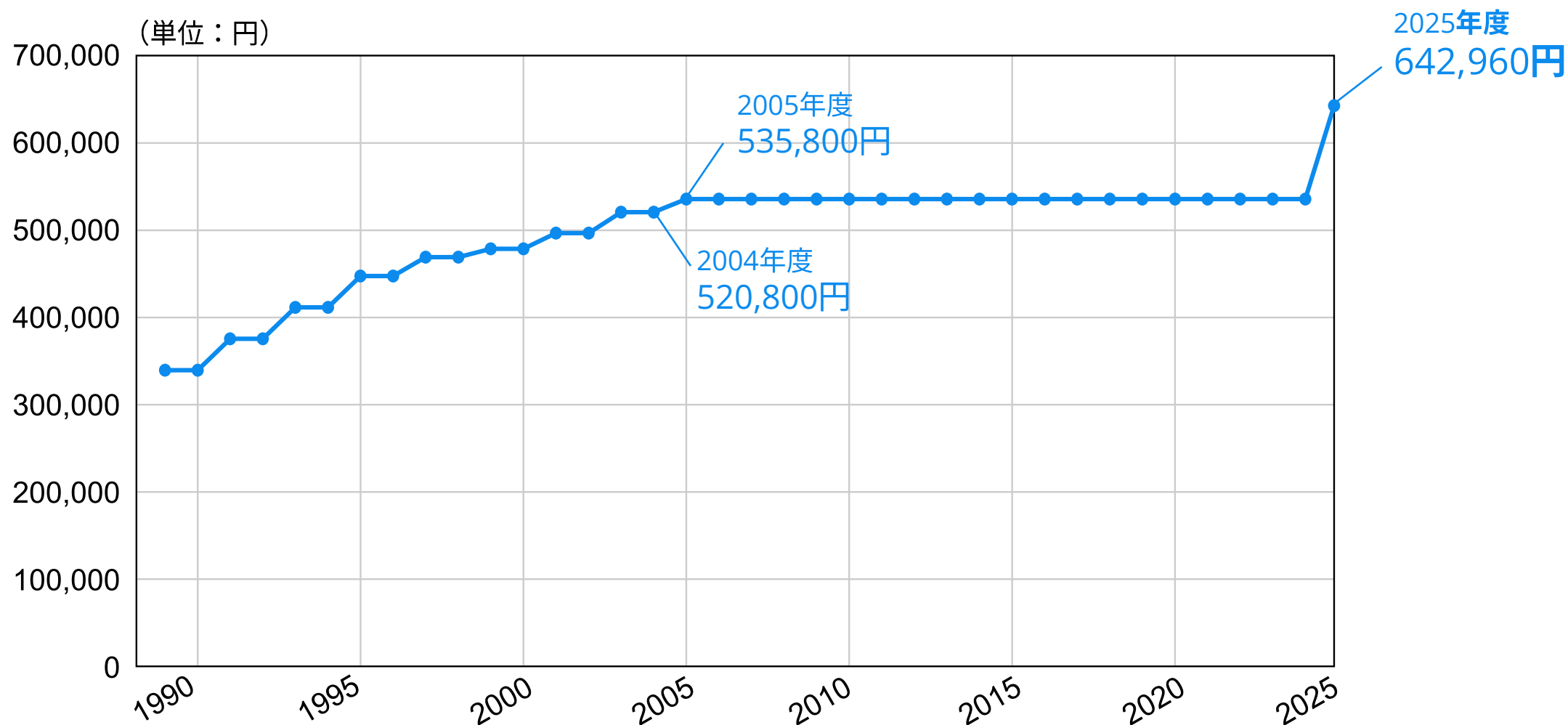


いすゞ自動車(株)からの寄付金
10億円をもとに研究センターを開設

寄付金受入額の推移



東京大学における授業料の推移



※ 年度は入学年度。2004 (平成16) 年度以降の額は国が示す標準額

※ 東京大学では2005 (平成17) 年度の標準額改定時、2025年 (令和7) 年度の授業料改定時、大学院 (博士課程) の授業料を520,800円で据え置いている。

※ 修士・専門職学位課程においては、2029 (令和11年) 年入学者から642,960円の授業料を適用。

授業料改定案・学生支援拡充案の内容

授業料改定

| 学種 | 現行 | 改定後 | 改定時期 |
|------------|----------|----------|----------------|
| 学士課程 | 535,800円 | 642,960円 | 2025年4月入学者から適用 |
| 修士・専門職学位課程 | 535,800円 | 642,960円 | 2029年4月入学者から適用 |
| 博士課程 | 520,800円 | — | (改定しない) |

※ 専門職学位課程のうち法科大学院 (法学政治学研究科法曹養成専攻) は改定しない (現行：804,000円)

学生支援の拡充

学士課程

2025年4月入学者より、**世帯収入600万円以下**の日本人学生は全額授業料免除
(~2024年度: 世帯収入400万円以下の者は全額授業料免除)

修士・専門職学位課程 (法科大学院を除く)

2029年4月入学者より、**世帯収入600万円以下**の日本人学生は全額授業料免除
(~2028年度: 家計の総所得金額を世帯人数別の家計基準と比較して免除の適否を審査)

- 世帯収入600万円超~900万円以下の学生についても、出身地等個別の状況を勘案して一部免除を実施。
 - 外国人留学生については、免除判定における収入や所得の考え方が日本人学生と異なることから、従前どおりの取扱いとする。
- ※ 博士課程は現行どおり

東京大学債の発行

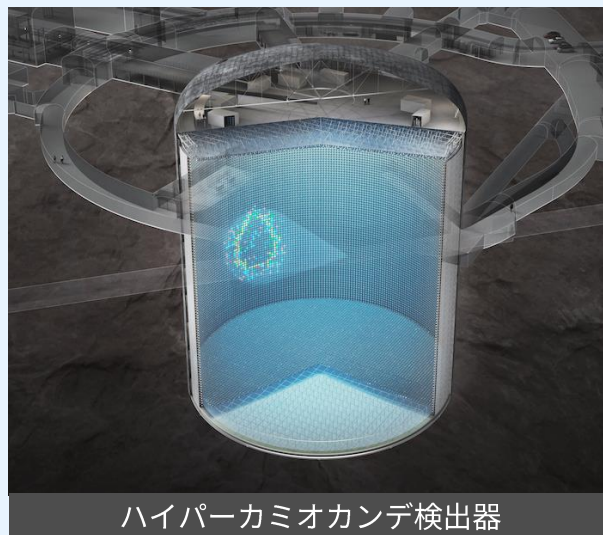
- 自律的で創造的な大学活動のための経営力の確立を目指して、過去6回にわたり発行
- 東京大学が進めるUTokyo Compassに資する事業やFSI (Future Society Initiative) 事業を加速
- 世界初の大学によるソーシャルボンドとしての発行 (第1回・第2回債)
- ソーシャル性・グリーン性を併せもつサステナビリティボンドとしての発行 (第3回債以降)

UTokyo Compass債 (第4回～第6回債)

発行：2025年6月
サステナビリティボンドとしての発行
発行額：175億円

主な資金用途

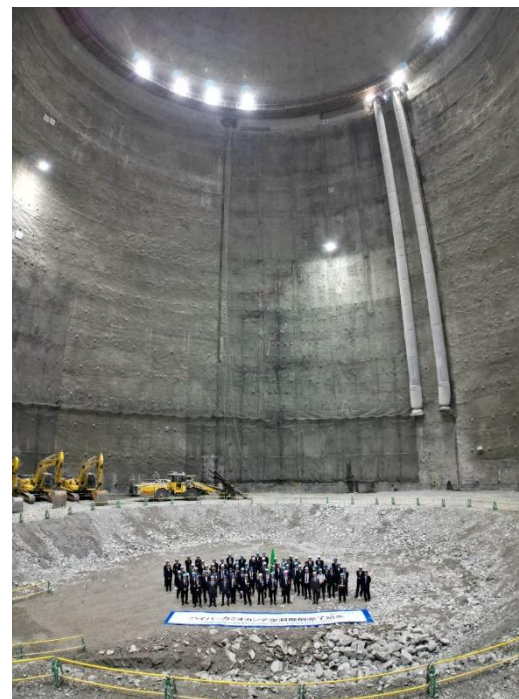
- ハイパーカミオカンデ計画の推進
- GX推進に向けた基盤整備
- D&Iを推進する拠点「D&I棟」の整備
- 教育研究活動支援システムの導入



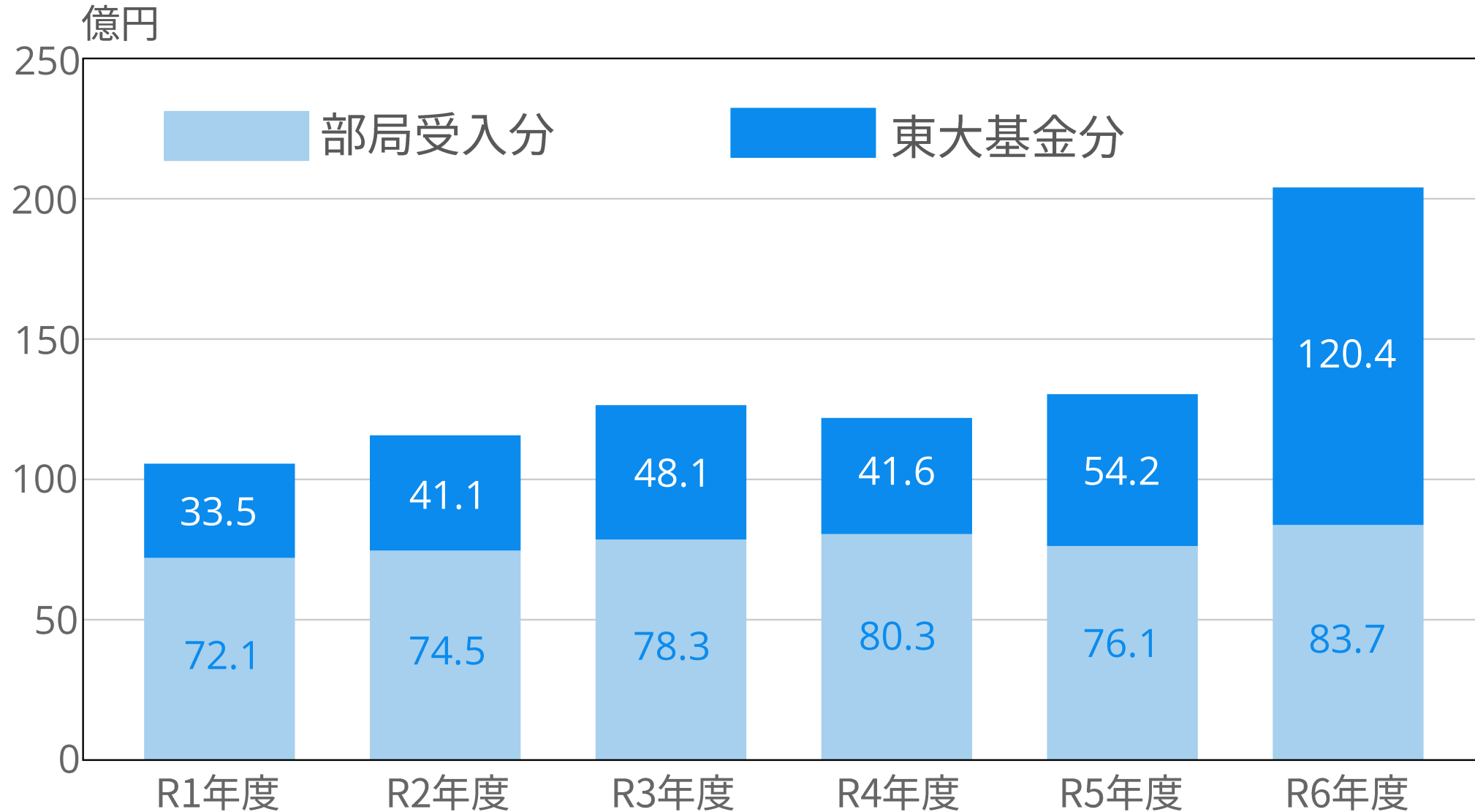
ハイパーカミオカンデの空洞掘削工事が完了

東京大学が主導して岐阜県飛騨市で建設を進めている次世代超大型水チェレンコフ宇宙素粒子観測装置「ハイパーカミオカンデ」において、検出器本体を設置する巨大地下空洞の掘削が、約2年9か月をかけ、2025年7月31日に完了(同年6月29日に記念式典・空洞見学会を開催)。

今後、この直径69メートル、高さ最大94メートルの巨大な空洞に、光センサー等の取付けがなされた後、超純水で満たされ、2028年には観測が開始される予定。



寄附金受入額の推移



東京大学住宅都市再生研究センター

2025年10月1日設置

大和ハウス工業株式会社からの寄付金 (10億円) の運用益にて東京大学が運営するエンダウメント型研究組織を新設。

気候変動や少子高齢化、先端情報技術など幅広い領域にまたがる住宅市街地や都市の再生に関連する各研究分野の境界領域の開拓及び融合を図り、産業界とも連携し、現代の住宅・都市再生が抱える諸課題の解決に向けた研究に取り組むことで、住宅・都市再生に資する技術及び制度革新を先導し、社会制度や政策課題などの解決に資する研究成果を導き出すことを目指す。



Dialogue



創立150周年



NHK Eテレ特集シリーズ『日本人と東大』

日本放送協会 (NHK) との包括連携協定 (2023年12月締結) に基づく

第1回「エリートの条件 “花の28年組”はなぜ敗北したのか」

2025年3月22日放送

エリートは、何のための存在か？
東京大学・創立150年へ、その原点から日本人の歩みをたどる。
ライオン宰相・浜口雄幸を輩出した東大卒「明治28年組」。市民社会の理想を共有し、金解禁と軍縮をやり遂げた。しかし、東京駅に銃声が響く。浜口がたおれ、戦時体制に国民を動員したのは同じ東大卒の「革新官僚」たちだった。国を背負うエリートの本質に、現代の東大生の本音も交錯させながら迫る。



制作著作:NHK <https://www.web.nhk.tv/an/etv21c/pl/series-tep-M2ZWLQ6RQP/ep/GZ9VWJ1M7Z>

第2回「壁と翼 ～“女子学生2割”の問いかけ～」

2025年3月29日放送

「賢い女性ほど東大を避けるのでは」東大卒女性を研究したアグネス・チャン。なぜ、東大は『女子学生2割の壁』で停滞し続けるのか。1946年、初の女子学生 19人は3か月後に退学者が現れた。女子学生亡国論、男女雇用機会均等法と103万円の壁。女性たちは何を見てきたのか。今、「社会より先に東大が変わるべき」と言う東大・林香里理事の覚悟。地方女子の進学の壁に気付いた現役学生の取り組みは。一人一人の声を聞く。



制作著作:NHK <https://www.web.nhk.tv/an/etv21c/pl/series-tep-M2ZWLQ6RQP/ep/XM9P85QVP9>


2. 東京大学ファンのすそ野拡大

- ・これまで繋がりのなかったファン層の拡大
- ・寄付につなげる一連のコミュニケーション活動

150周年記念事業ーNHK包括連携協定ーブラタモリ*
ー東京大学の宝物サイトーひらけ！赤門プロジェクト
ーテレビ、雑誌取材



＊制作著作:NHK
2025/8/23放送
<https://www.web.nhk.tv/an/burata-mori/pl/series-tep-D8K46WY9MZ/ep/P3VV8L68P6>
2025/8/30放送
<https://www.web.nhk.tv/an/burata-mori/pl/series-tep-D8K46WY9MZ/ep/J1L96W1XR3>



世界とつながり、
未来をつくる力を
育んでいく。

2025年4月18日 AUA Presidents Forum

- AUA：2017年成立。アジアの国・地域を代表するトップ16大学から成る大学連合。
- 高等教育におけるAI活用の展望とリスクをテーマにしたセッション“Promise and Risk of Artificial Intelligence (AI) in Higher Education”に登壇。
- AUA Summit 2025の様子をNHK Eテレ「シンポジウム 生成AIが教育を変える～アジアの大学リーダーたちが考える未来～」(2025年7月5日)で放送。



STS Forumとの連携

| | |
|----------|---|
| 2024年5月 | STSフォーラムとの連携及び協力に関する覚書を締結 |
| 2024年10月 | STSフォーラム連携協力委員会を設置、UTokyo Compass推進会議と連携 |
| 2024年10月 | STSフォーラム年次総会にて生成AIを用いたExecutive Summaryの作成に貢献 |
| 2025年10月 | STSフォーラム年次総会にてIARU加盟校と“AI and the Future University: Strategic Leadership, Culture, Diversity and Global Equity”を実施 |



Plenary Session 102B AI and the Future University: Strategic Leadership, Culture, Diversity and Global Equity

IARU加盟校でセッションを企画。
(1) AI and Institutional Strategy, (2)
Cultural and Linguistic Diversity in the
Age of AI, (3) Universities as Global
Stewards of Ethical AIをテーマに議論。



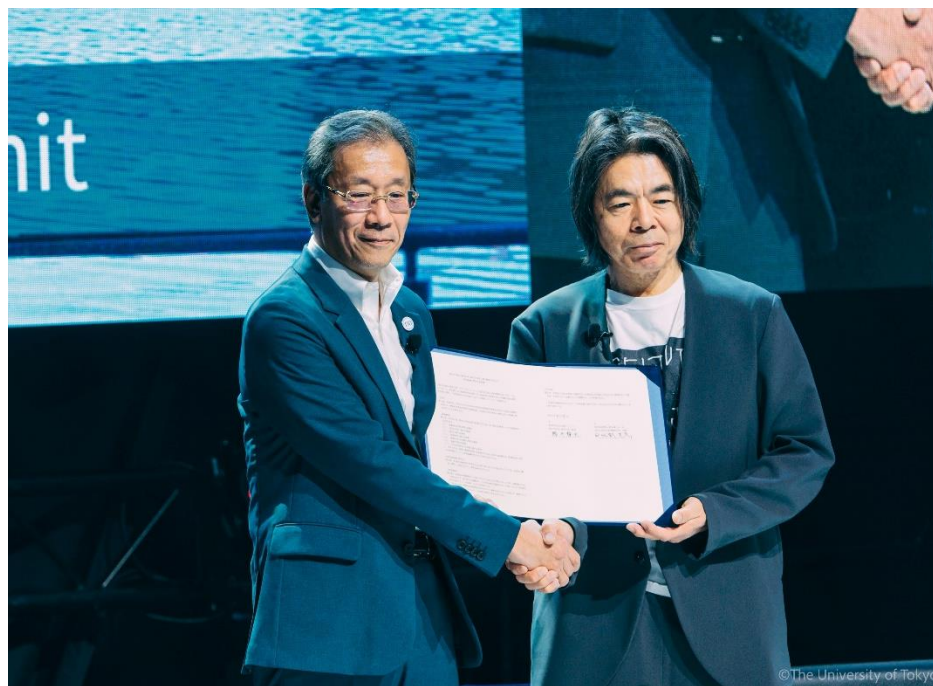
生成AIを用いたExecutive Summaryの作成

本学のSTSフォーラム連携協力
委員会-知の構造化作業部会を
中心に、年次総会の各セッ
ションSummaryを生成AIを用
いて作成し、会場モニター等
に掲出。

東京藝術大学との包括連携協定

国立大学法人東京藝術大学と、教育研究を通じた人材育成及び地域社会への貢献に係る包括連携協定を2025年5月に締結（SusHi Tech Tokyo 2025にて対談後）。

東京藝術大学芸術未来研究場における藝大生と東大生との地域貢献事業（両大学学生、谷根千地域の住民が集う藝大部屋での地域活性化プロジェクト「ベンチ共創プロジェクト」の実施など）等に取り組む。



連携による新たなイノベーション

点と線から“面”へ

IBM量子コンピュータ 新川崎



- 156量子ビット Heronプロセッサ (2025年9月～)
- 日本国内で最新・最大規模の量子コンピュータ

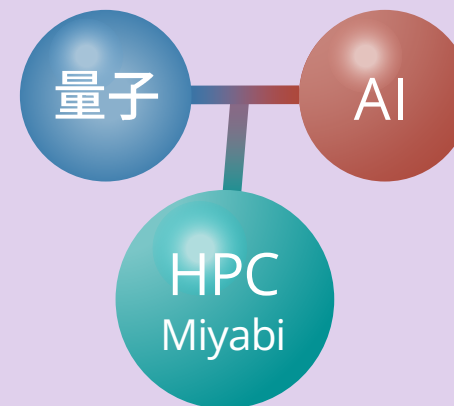
Miyabiスーパーコンピュータ 東京大・筑波大の共同研究



最先端共同HPC基盤施設

- Miyabi-G (CPU + GPU) 1120ノード
- ポスト富岳の実質的なプロトタイプ

次世代量子AI スーパーコンピュータ



量子・HPCハイブリッドによるAI

- Miyabi-GでのGPU並列計算、CPU+GPUメモリの統合アクセス
- 量子状態のサンプリング+HPCでの古典機械学習

2030年代の量子統合計算のフラッグシップ環境へ

▶▶▶ 量子AIの応用領域を拡大

先端半導体の研究・教育・人材育成の推進へ

2019年以來のTaiwan Semiconductor Manufacturing Company Limited (以下「TSMC」) との先端半導体技術の共同研究開発を、より体系的・戦略的に推進すべく、2025年4月産学協創協定を締結。

6月には半導体技術における最先端の研究開発を促進し、革新的なソリューションを生み出し、また半導体人材の育成を目指すためのジョイントラボ「TSMC東大ラボ」の運用を開始。相互に連携・協力を進めていく。



東京大学GATEWAY Campus開設



東日本旅客鉄道株式会社 (JR東日本) と、「プラネタリーヘルス」を目的としたPlanetary Health Design Laboratory (PHD Lab.) のビジョンのもと、100年間の産学プラネタリーヘルス」の創出協創協定を2023年に締結。

TAKANAWA GATEWAY CITY に日本初のプラネタリーヘルスをテーマにしたキャンパス「**東京大学 GATEWAY Campus**」を2025年10月に創設。

プラネタリーヘルス研究機構 (Research Institute of Planetary Health, RIPH) を基盤に、持続可能で心豊かな未来のくらしづくりに取り組む。



2025年10月 オープニングセレモニー

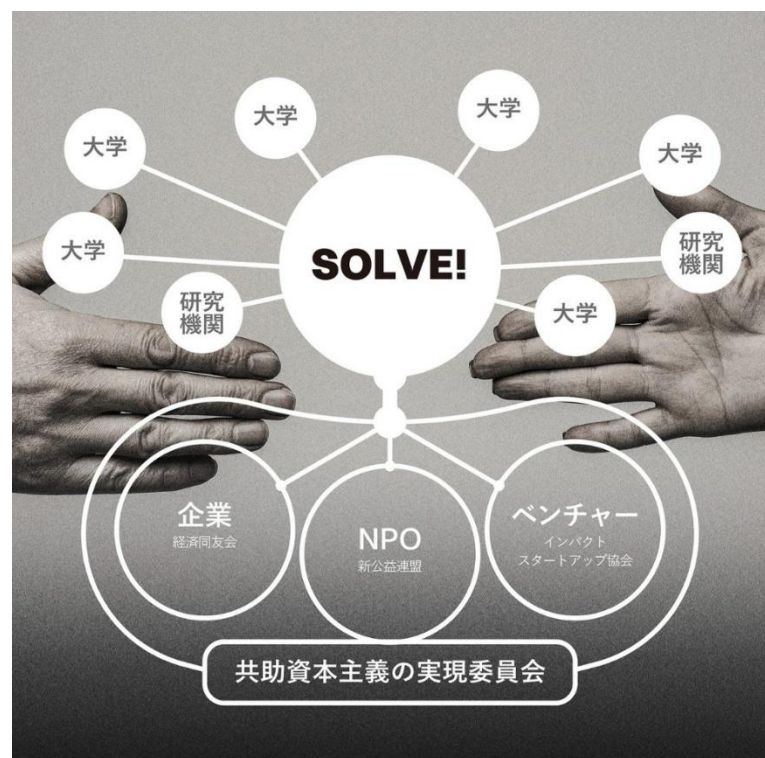


共助資本主義の実現に向けた大学連合

SOLVE!

SOLVE! : Strategic Organization for Learning, Venturing and Empowerment

社会課題先進国ともいえる日本において、地理・分野を超えた大学並びに研究機関で学問を追究する学生及び研究者に対し、共助人材として産学官民の垣根を越え、複雑化する社会課題の解決を実現する新たな担い手としての交流・学修・創発・実践の機会を提供



MEMBERS as of October 2025

東京大学 上智大学 東京外国語大学 中央大学 関西大学 法政大学
東北大学 立命館大学 早稲田大学 立教大学 東京科学大学 大阪大学
帝京大学 お茶の水女子大学

設立時参加大学 (13大学) にお茶の水女子大学を加えた14大学で活動中



公益社団法人 経済同友会
Japan Association of Corporate Executives

「課題解決のための社会起業」ワークショップ

2025年6月28日～29日 / Soil100最終審査会: 2025年9月12日

- 「儲からないけど、意義がある」事業を支援する公益財団法人Soilが主催
- 東大駒場キャンパスにて開催。大学連合に参画する大学に在籍し、社会貢献や社会起業に興味をもつ学生（大学院生含む）80名程度が首都圏以外からも参加。
- 社会起業家による講義やグループワークを通して、参加者が自身のビジョンを社会起業という形で具現化するためのヒントと仲間を得る。



最終審査に進出した10チームの皆さん

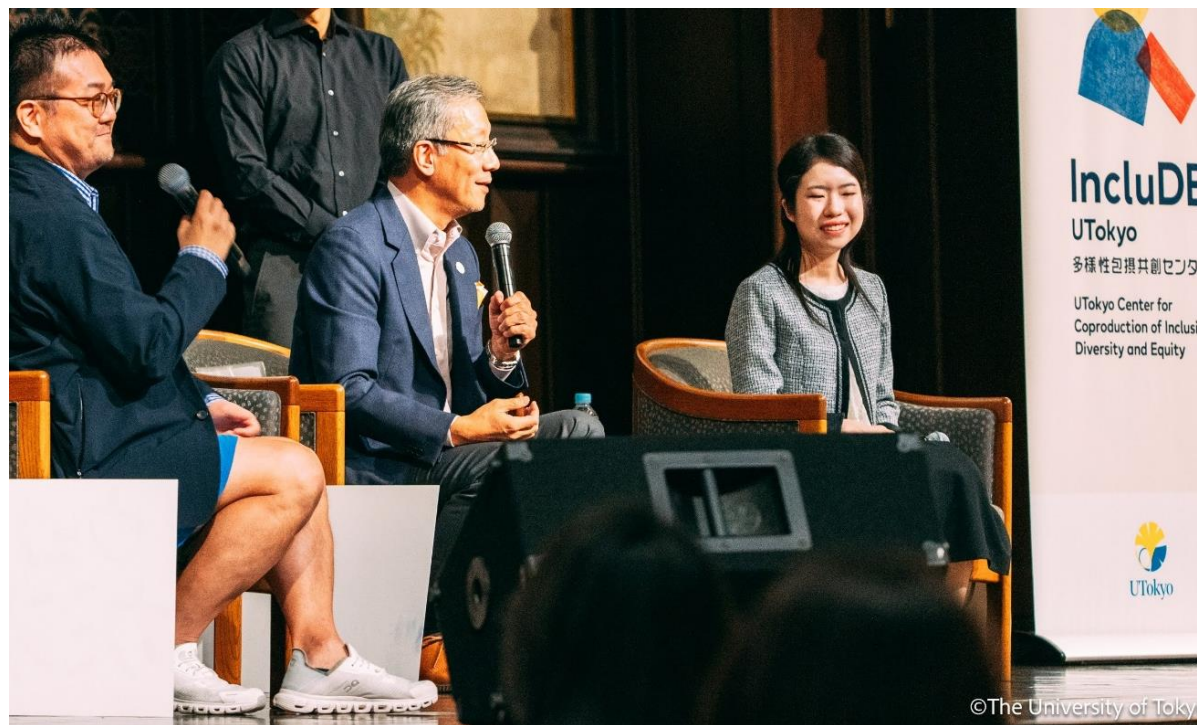
Diversity, Equity, Inclusion

キックオフシンポジウム「共に創るDEI」



2025年9月22日

反DEIの動きが各所で見られる中、「共に創るDEI」と題して、IncluDEの理念であるCoproduction (共同創造)、Diversity (多様性)、Equity (公平性)、Inclusion (包摂性) の重要性について、参加者と共にあらためて考え直すべく、「今こそ進めよう、東大発DEI」をテーマにしたパネルディスカッション、IncluDEの活動等を報告するポスター展示、手話狂言などが催された。



お茶の水女子大学創立150周年記念

大学経営ビジョナリー育成プロジェクト



2025年7月～9月 事前研修、ワシントンDC・NY研修、研修報告会

大学の意思決定層に女性を増やすため、お茶の水女子大学、京都大学、東京大学に所属する計9人の若手・中堅の女性教員が大学経営について学ぶ。オンラインでの事前研修を経て、ワシントンDC・ニューヨークでの1週間の現地研修に参加。



久能 祐子

Sachiko Kuno, PhD

米国で活躍する連続起業家、科学者、フィランソロピスト。

研修プログラム内容

- 米国における大学訪問
- 在米日本大使館との意見交換
- 女性のリーダーシップに関する専門家の講演聴講
- グループワーク、ディスカッション

UTokyo Design



UTokyo

COLLEGE OF DESIGN

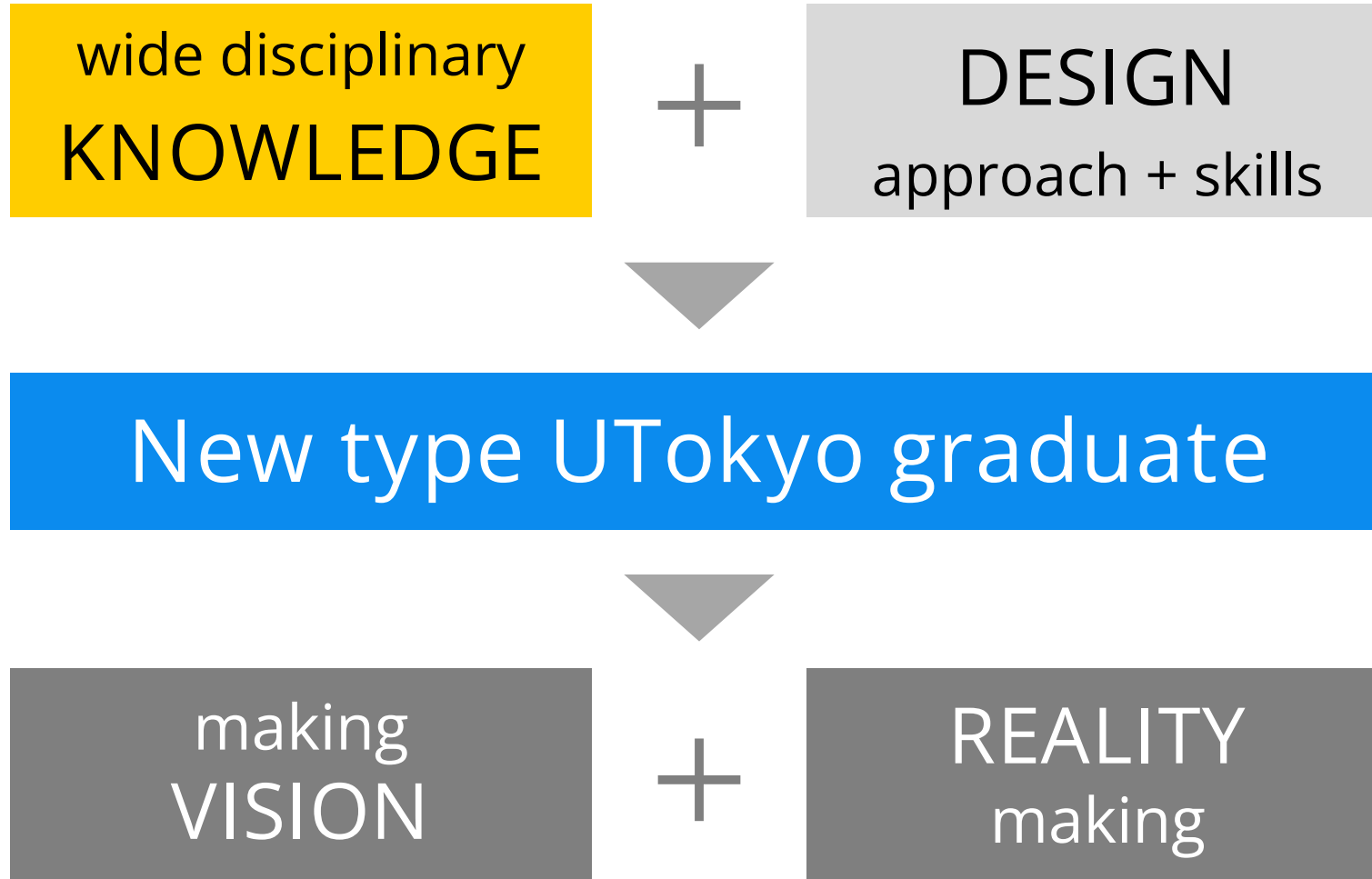
to be established in 2027

See the World
Through Design.
Then Change It

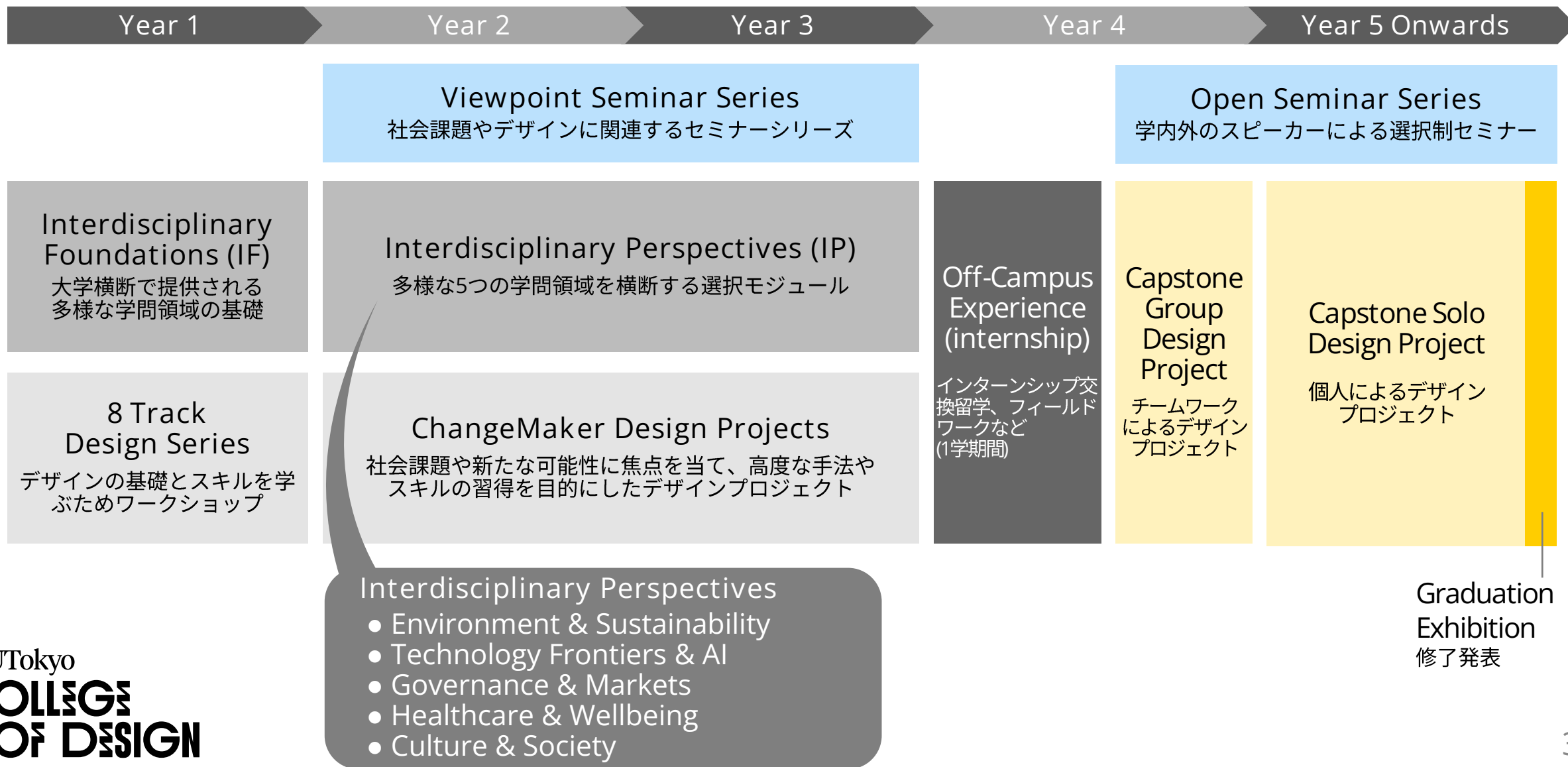
1958年の薬学部創設以来、約70年ぶりの
学部新設

社会に変革をもたらす次世代の
リーダー／イノベーターを育てる

Pushing the boundaries of design



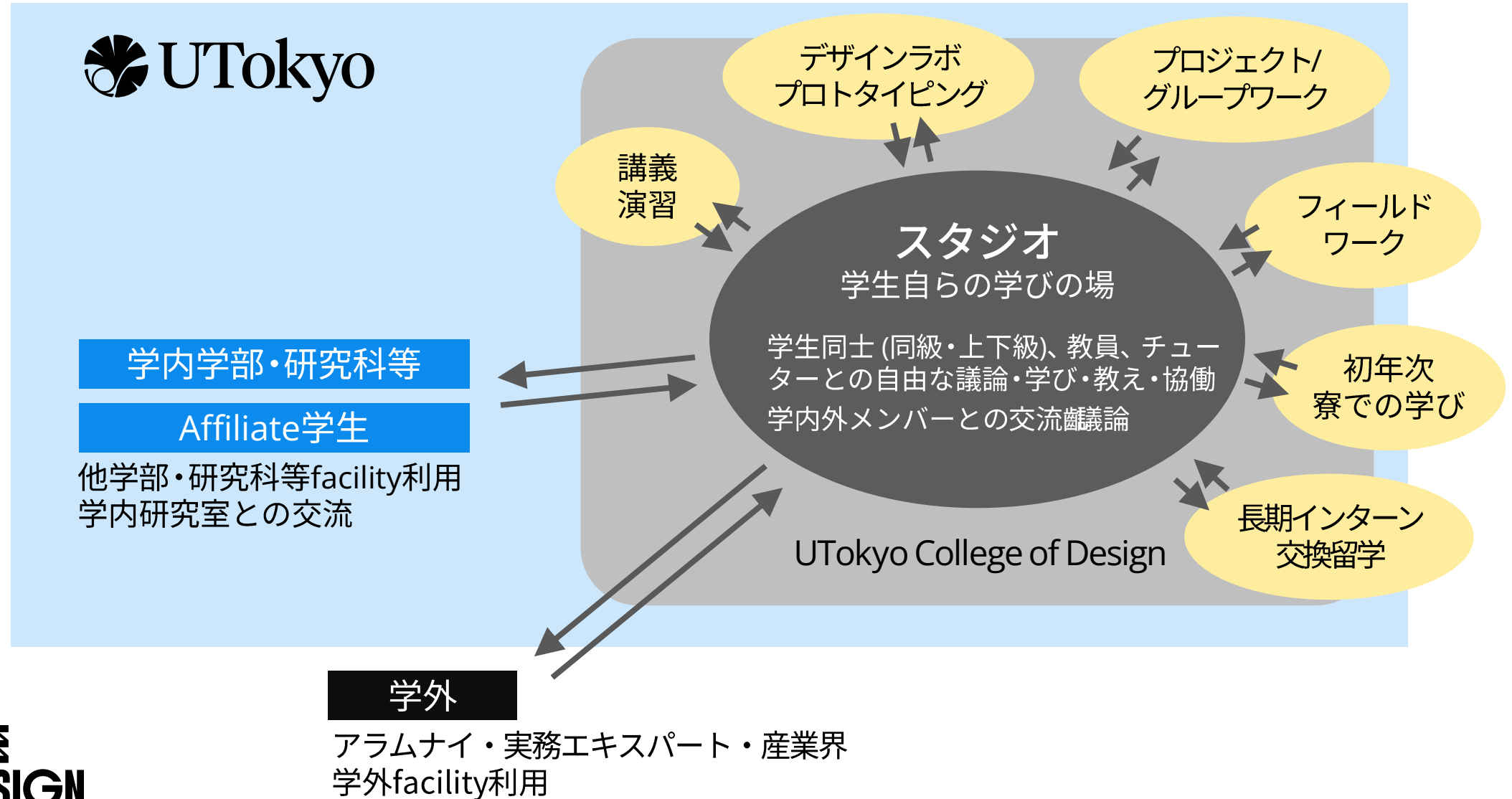
Curriculum Overview



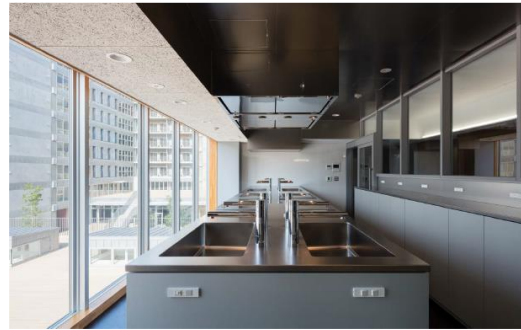
本郷地区キャンパス・旧情報基盤センター本館を拠点とする予定



学びの場所と学内外連携



寮 (初年次全寮制)

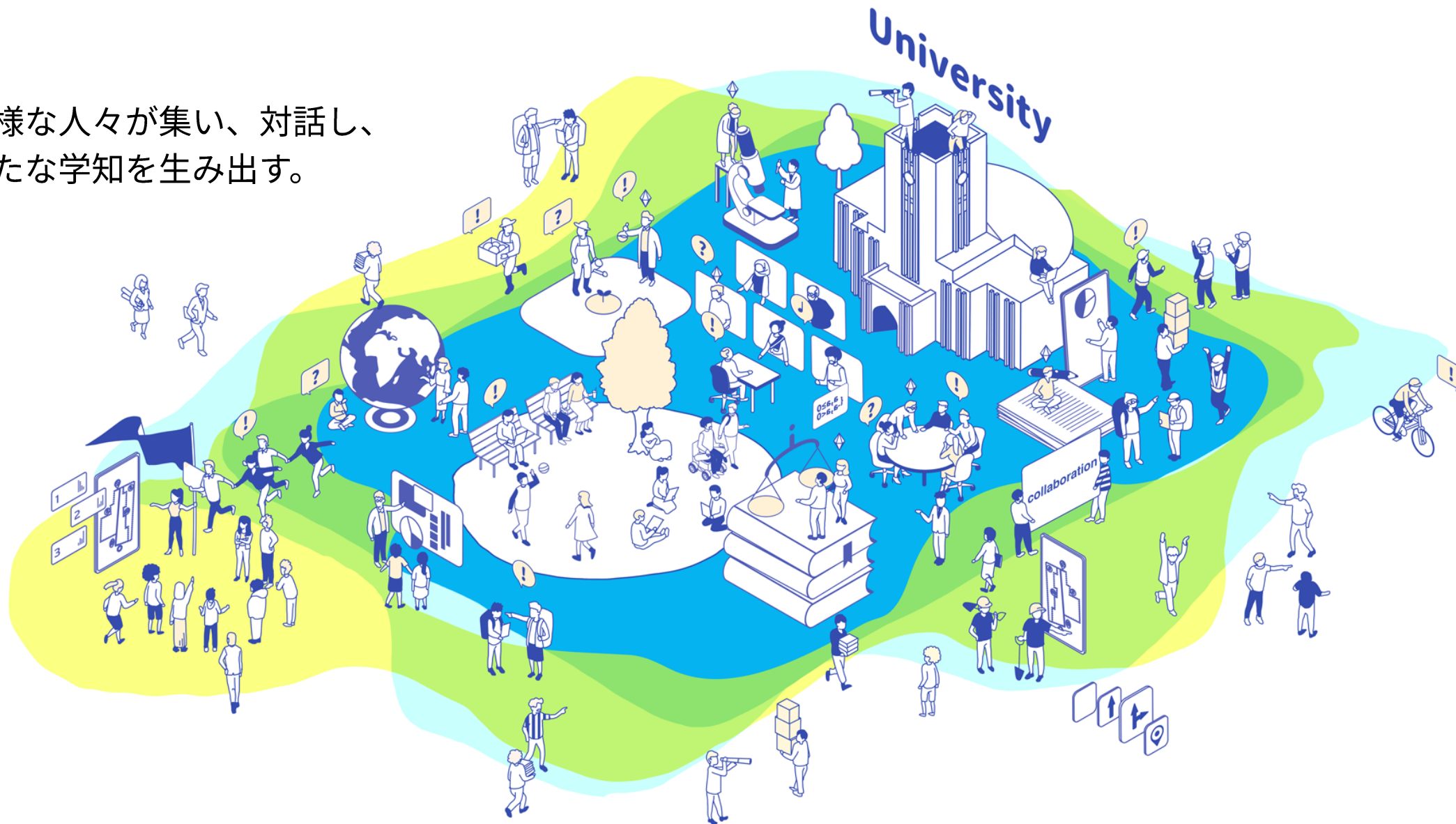


- 目白台インターナショナルビレッジ (2019年築) の1フロア (113室) を使用予定
- 全室個室
- レジデントアシスタント (RA) の活用等、学習・生活面の支援体制を構築

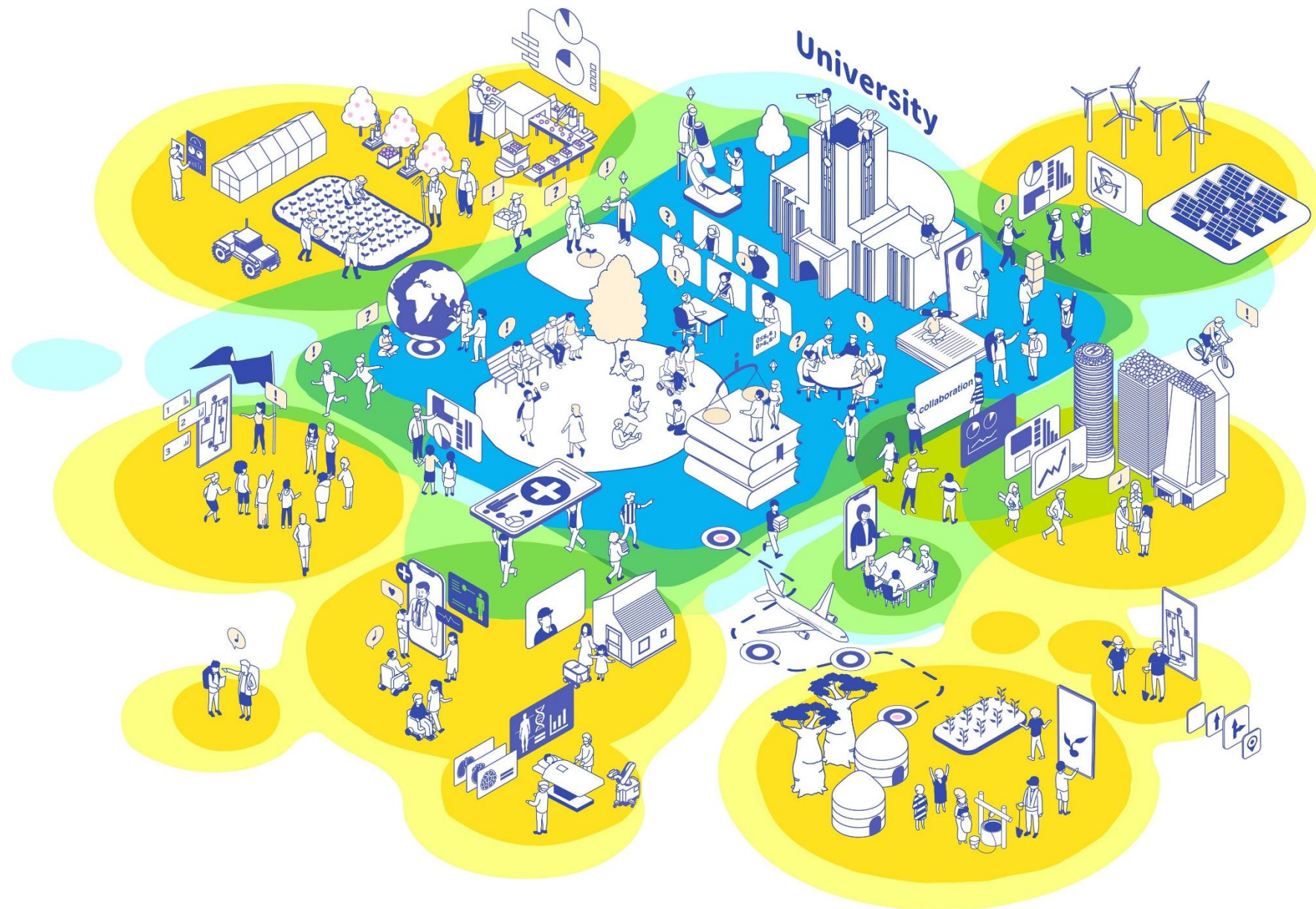
*A university for
everyone in the
world*

UTokyo COMPASS 2.0 が描き出すこれからの東京大学

多様な人々が集い、対話し、
新たな学知を生み出す。



多様性に開かれた対話を通じてあるべき未来像を社会とともに創り上げる



世界の誰もが来たくなる大学へ

多様なグローバルリーダーとの対話により、理想の将来像をつくる

H.E. Dr. Alexander Stubb
(President of Finland)

Dr. Jason Kwon
(CSO, Open AI)

Prof. Dame Angela McLean
(Government Chief Scientific Adviser, UK)



Mr. Astro Teller
(Captain of Moonshots, X)



Ms. Melissa Fleming
(United Nations Under-Secretary-General
for Global Communications)

Nobel laureates
(HFSP Science Summit 2025)



UTokyo **COMPASS** 2.0 

多様性の海へ：対話が創造する未来